

iOSデバイスのsysdiagnoseをUmbrellaにアクティブ化して送信する

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[概要](#)

[iOSデバイスのsysdiagnoseをアクティブにして送信する](#)

はじめに

このドキュメントでは、iOSデバイスのsysdiagnoseをアクティブ化し、Cisco Umbrellaサポートに送信する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Umbrellaに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

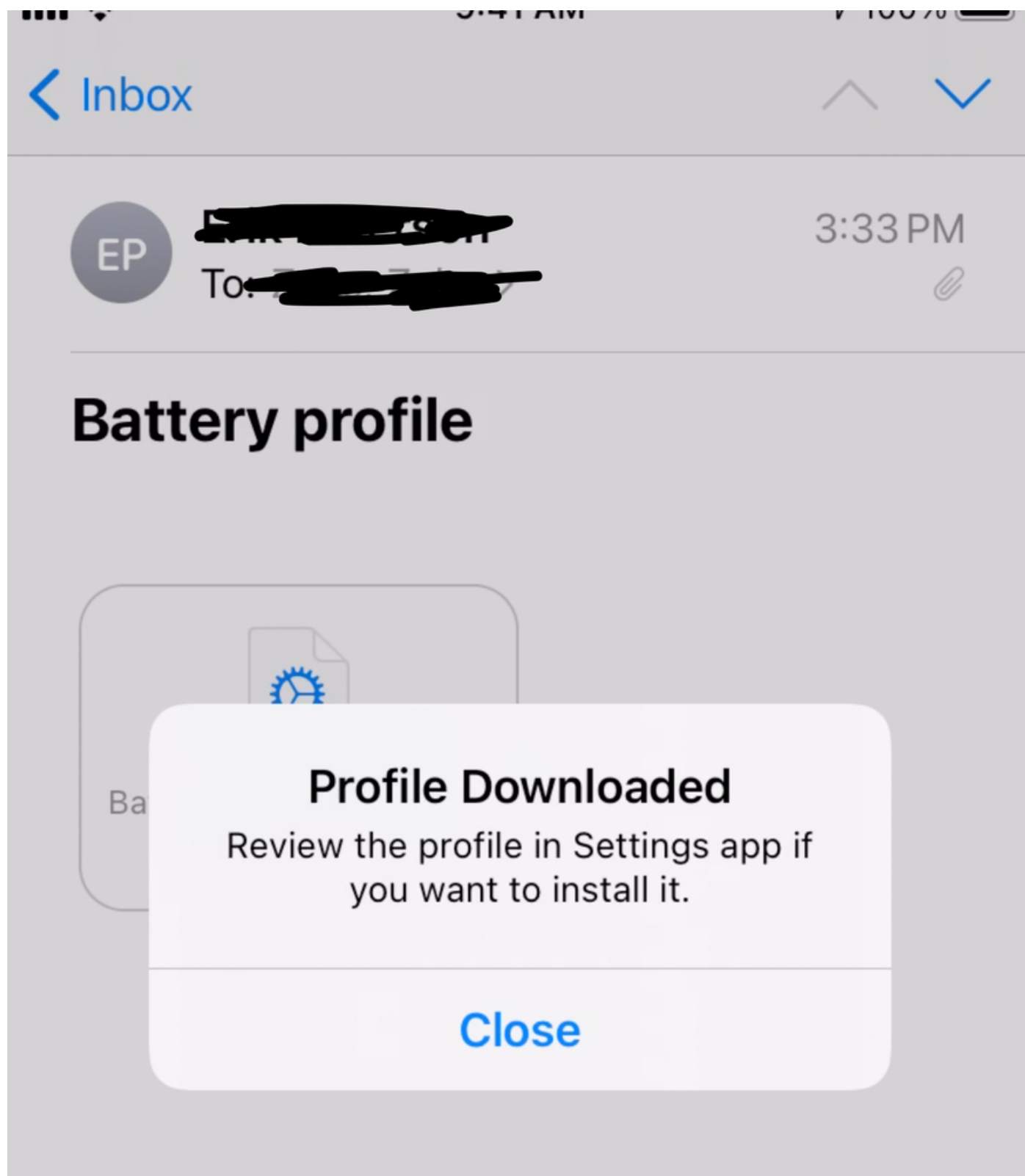
概要

iOSデバイスでバッテリーの消耗に関する問題が発生した場合、Cisco Umbrellaサポートからsysdiagnoseが要求される場合があります。この記事では、この診断を正しく実行する方法について詳しく説明します。

iOSデバイスのsysdiagnoseをアクティブにして送信する

1. iOSデバイスでCisco Umbrellaサポートから電子メールで.mobileconfigファイルを受信したら、インストールを開始するファイルを選択します。この操作により、「Profile Downloaded」ダイ

アログが表示されます。



4402032364308

2. Settings > Profile & Device Managementの順に移動します。



9:41 AM

100%

[Settings](#)

General

Date & Time >

Keyboard >

Fonts >

Language & Region >

Dictionary >

VPN Not Connected >

Profiles & Device Management 3 >



Legal & Regulatory >

Reset >

[Shut Down](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。